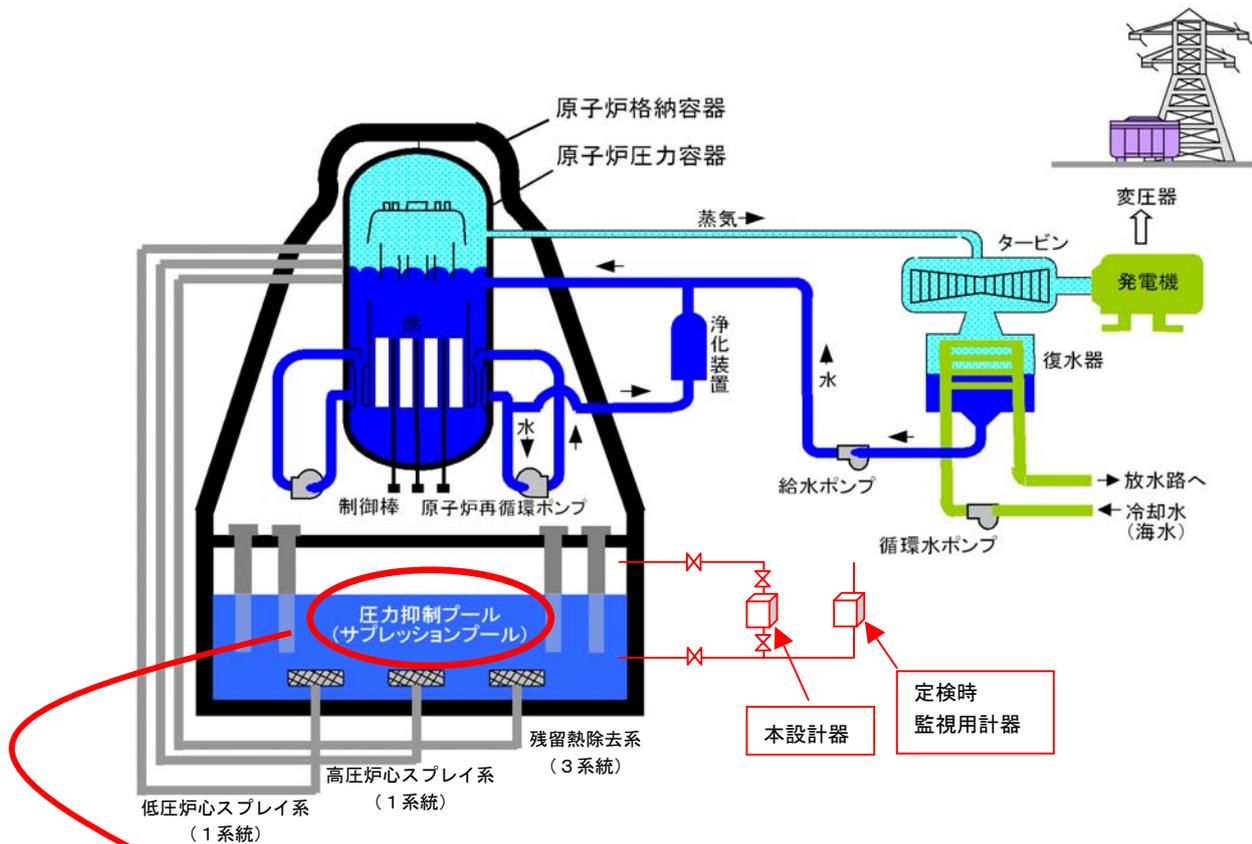


東海第二発電所 系統概略図



サプレッションプール

- ・水深：約7m
- ・水量：約3400t
- ・目的：原子炉運転時の冷却材喪失事故時や逃がし安全弁作動時に放出される蒸気を凝縮するため約3400tの水が保有されている。この保有水は非常用炉心冷却系の水源でもあり、原子炉冷却材喪失事故時等に非常用炉心冷却系（ECCS）のポンプにより原子炉に注水される。